

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	子ども育成課	
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保	重点的方針	2.子育て・子育ち支援と教育学習環境の充実	
分野別方針	(3)保育環境の充実	実施計画事業	2)保育サービス充実事業(No.13)	
予算等事業名	百合が丘保育園運営事務経費			
目的	民間保育所、私立幼稚園への支援。公立保育園を運営することにより保育サービスを確保するとともに、多様な保育ニーズに対応するためサービスの充実をすすめる。			
内容	百合が丘保育園を運営するための経費を支出する。			
根拠法令・条例等	児童福祉法			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか
<input type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している <input type="checkbox"/> ②計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③未実施
②、③に対する理由

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか
<input type="checkbox"/> ①検討できる <input type="checkbox"/> ②削減は困難
理 由

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか
<input type="checkbox"/> ①検討できる <input type="checkbox"/> ②効率化は困難
理 由

中間評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】
------	--

総合評価

実績	待機児童数 0人		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	待機児童数		
前期(27年度)目標値 単位:	0人		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度 0人	平成26年度	平成27年度 4月1日時点での待機児童数(百合が丘保育園)

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		24,689	23,042				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない 【説明】 公立保育所の運営に必要。	A
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある 【説明】 児童数の増減に対し、公立保育所は緩衝機能の役割を果たしている。	A
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がってない 【説明】 保育入所希望数が多く、民間保育所に入所できない児童を受け入れる事ができた。	A
	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない 【説明】 公立保育所には国等からの補助金が交付されない。	B
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】 特別な事情がある児童の受け入れのためにも、公立保育所は必要である。	A
	今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	公立保育所は必要だが、財政的に経費削減が必要となってきている。

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	②改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④廃止
理由	唯一の公立保育所として、町の子育て支援施策の重要な役割を担っている。						
今後の方向性	今後も運営の効率化及び充実に努める。						